

●筋グループディナー報告

第86回日本生理学会大会・筋グループディナーは、平成21年7月29日夜に、グランドプリンスホテルのロイヤルルームで開かれました。会場はIUPS2009の開かれた京都国際会館の向かいで、同日には江橋・名取シンポジウムが開かれ、同シンポジウムの演者や聴衆の多くがグループディナーにも参加していました。参加者は100名以上にのぼり、そのうち20名程度は海外の研究者でした。

場所がやや高級なホテルであること、外国人の参加が多いことから、例年の打ち解けた筋グループディナーの雰囲気が損なわれるのではないかと危惧されましたが、実際のところはいつもど通りの和気藹々とした立食ディナーとなりました。

特に式次第は用意されていませんでしたが、遠藤實先生（埼玉医大）の乾杯に始まり、参加者同

士に会話が大きい盛り上がった後で、David A. Eisner先生（University of Manchester, UK）、John Solaro先生（University of Illinois, USA）、Martin Morad先生（Georgetown University, USA）のスピーチがありました。3氏とも、日本の筋生理学の伝統と研究水準を高く評価されておられました。最後は大槻磐男先生（慈恵医大）の挨拶で締めとなりました。

海外からの参加者を含め、研究者同士の自由な情報交換という目的には、本グループディナーは大いに役立ったと思われます。

最後に、事務を引き受けていただいた東京医科大学細胞生理学講座の皆様にお礼いたします。

文責 八木直人（高輝度光科学研究センター）